



トルバプタン「サワイ」

を服用されている**肝硬変**の患者さんへ



トルバプタン「サワイ」は、体内の余分な水分を排泄することで、むくみをとるお薬です。

このお薬を服用する際は、次のようなことに注意しましょう。

- このお薬を服用すると尿量が増えて、のどが渇くことがよくあります。
のどが渇いたら、水分をとるようにしましょう。



詳しくは医師に相談してください。

- 病状を確認するために、医師の指示に従い、**毎日決められた時間に体重を測定してください。**測定した体重は、この冊子の表(P4、5)に必ず記録しましょう。

お薬は決められたとおりに服用しましょう。

- ▶ご自分の判断で、服用する量を変えたり、中止したりしないでください。
- ▶中止してしまった場合、服用を再開しないで、必ず医師に相談してください。
- ▶飲み忘れた場合も医師に相談してください。

次のような症状があらわれた場合は、 すぐに医師の診察を受けましょう。

<脱水症状>

- のどが渇く(水を飲んでも良くならない) ●皮膚・唇・口の中の乾燥が急にひどくなった ●急激に体重が減少した
- 適切に水分をとり、それでもまだのどが渇く場合は、すみやかに医師の診察を受けてください。

<病状の悪化>

- 短期間で急激に体重が増加した ●排尿回数や尿量が急に減り、お腹が張ってきた ●腹部膨満感など腹水に伴う症状が悪化した ●むくみがひどくなった ●めまい、立ちくらみ

<血清ナトリウム濃度が急激に上昇することによる障害*>

*浸透圧性脱髄症候群(しんとうあつせいだつずいしょうこうぐん)

- 手足のまひ ●発音が不明瞭になる ●飲み込みにくい
- けいれん ●意識がなくなる、意識が乱れるなど

<肝性脳症>

- 手のふるえ ●物忘れをする ●幻覚 ●イライラする
- 気分が不安定 ●意識の低下など

以上のような場合には、肝性脳症で脳のはたらきが低下している可能性があります。のどが渇いたときに、ご自分の意思で適切に水分をとることができなくなるおそれがありますので、すみやかに医師の診察を受けてください。

<消化管出血>

- 血を吐く ●便に血が混ざる ●黒い便が出る ●急に血圧が下がった

<肝機能障害>

- 皮膚や白目が黄色くなった ●強い倦怠感 ●吐き気、食欲低下 ●もともとあったこれらの症状が急にひどくなった

▶このほかにも、お薬を飲みはじめて体に異常を感じた場合や
気になることがある場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

このお薬を服用するときの 注意点



◎グレープフルーツジュースと一緒に 飲まないでください。

同時に飲むと、このお薬の作用が強くなるおそれがあります。

◎このお薬には一緒に飲むときに 注意すべきお薬があります。

他のお薬(薬局・薬店で買ったお薬を含む)を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

◎めまい、立ちくらみに注意してください。

めまいや立ちくらみがあらわれることがあるので、転倒に注意してください。

また、高いところでの作業や自動車の運転などの危険を伴う機械を操作する際には、十分注意してください。

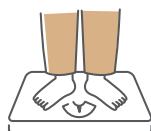


毎日決められた時間に体重を測定しましょう。
その日1日分の飲水量もあわせて記録しましょう。

[____ 時測定]

	日付	体重 (kg)	飲水量 (mL)
1 週 目	/ ()		
	/ ()		
	/ ()		
	/ ()		
	/ ()		
	/ ()		
	/ ()		
2 週 目	/ ()		
	/ ()		
	/ ()		
	/ ()		
	/ ()		
	/ ()		
	/ ()		

毎日決められた時間に体重を測定
しましょう。その日1日分の飲水量も
あわせて記録しましょう。



	日付	体重 (kg)	飲水量 (mL)
3 週 目	/ ()		
	/ ()		
	/ ()		
	/ ()		
	/ ()		
	/ ()		
	/ ()		
4 週 目	/ ()		
	/ ()		
	/ ()		
	/ ()		
	/ ()		
	/ ()		
	/ ()		

ご家族（介護者）の方へ

下記の注意事項を守っていただくために、患者さんがご高齢の場合など、必要に応じてご家族（介護者）の方による介助をお願いいたします。

- 1 のどが渴いたら、水分をとるようにしてください。
詳しくは 医師に相談してください。
- 2 毎日の体重測定は、ご家族（介護者）の方が一緒に確認してください。
- 3 短期間で急激に体重が増加した、あるいは減少した場合は、医師の診察を受けるようにしてください。
- 4 いつもより飲水量が目立って増加した、皮膚や唇・口の中の乾燥が急にひどくなった、腹部膨満感など腹水に伴う症状が悪化した、むくみがひどくなった、手のふるえ、物忘れをする、血を吐いた、黒い便が出たなどの症状に気づいた場合は、医師の診察を受けるようにしてください。
- 5 医師より塩分制限などの食事管理の指導があった場合は、食事管理に協力してください。詳しくは医師に相談してください。
- 6 皮膚や白目が黄色くなった、強い倦怠感、吐き気・食欲低下などの症状や、もともとあったこれらの症状が急にひどくなったことに気づいた場合は、医師の診察を受けるようにしてください。

外来で継続して服用される方へ

お薬の効果や副作用を確認するために、血液検査の結果や病状の経過を観察する必要がありますので、決められた日には必ず診察を受けてください。

次の診察予定は

 月 日 曜日 です。

診察時には忘れずにこの冊子をお持ちください。

医療機関名